

河川整備の目標（案）について

災害の発生防止又は軽減に関する事項

- 庄川の洪水氾濫から沿川地域を防御するため、基本高水のピーク流量（雄神地点：6, 500m³/s）への対応を長期的な目標としつつ、本計画では、戦後最大流量（雄神地点：4, 200m³/s）を堤防設計水位（H.W.L）以下で安全に流下させ、氾濫被害の防止を図る。
- 急流河川特有の洪水時の流水の強大なエネルギーに対する堤防の安全を確保するため、急流河川対策を行い、氾濫被害の防止を図る。
- 河川の増水や堤防が決壊した場合の氾濫域の拡大が急激であることを踏まえ、ハード・ソフト両面で水防管理体制の強化・充実を推進し、内水も含め被害を最小化する「減災」を図る。

河川の適正な利用及び 流水の正常な機能の維持に関する事項

- 庄川の水が恩恵をもたらす地域全体で合理的な水利用を促進するとともに、アユをはじめとする多様な動植物の生息、生育環境を良好に保つなど庄川の流水の正常な機能を維持するよう努める。
- 継続的なモニタリングを実施するとともに、関係機関と連携して良好な水質の維持に努める。

河川環境の整備と保全に関する事項

- 湧水によるワンド・タマリや連続した早瀬・平瀬等における豊かな自然環境や広い石河原や砂州などの河川景観の保全に努める。また、河道内だけでなく堤内地も含めた動植物の生息・生育環境の連続性に配慮する。
- 流域の歴史、文化、自然との調和を図り、アユ釣り、川遊び、スポーツ、祭事等の活動などの水辺空間や河川利用に関する多様なニーズを踏まえ、地域と水辺一体となって、人と河川との豊かなふれあいを増進するとともに、住民の河川美化活動と連携した住民参加型の河川管理を推進する。